

II 教育計画

1. 三浦市の学校教育「三浦らしい教育」で育てたい子ども像

- 心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども
- 郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども
- 世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

2. 本校の目指す子ども像

子どもたちに自己の確立と他を思いやる心情を育ててほしいと願う。言い換えれば、自分の考えをしっかりともって物事に対処できる子であり、他者の考えも尊重しながらよりよい考え、解決策を創り出せる子である。このことを実現していくためには、思い付きではなく、根拠をもって物事を深く追及する知性を養うこと、互いに切磋琢磨しながら、自他ともに大切にすることを育成すること、日常生活の中での様々な問題に積極的に関わり、それらを解決していこうとする行動力を身に付けていくことが大切であると考えます。

また、子どもたちが、これからの変化を予測しがたい時代に対応して生きていくためには醸成された人間関係の中で、主体的にお互いの考えを共有し、高め合いながら深く学び合い、自らの力で問題解決を図っていくことが求められる。

上記を踏まえ、「他者と合意形成を図りながら自ら解を創り出し、生涯にわたって学び続ける子」を本校の目指す子ども像とし、次の教育目標を設定する。

3. 本校の教育目標

- ①自分で考え 創造する子 (自主・自立：学力の向上「授業の話しよう」)
- ②心豊かな子 (協働・調和：人間関係の構築「学級の話しよう」)
- ③たくましく やりとげる子 (健康・安全：体力の増進「安全の話しよう」)

4. 教育目標具現化の方策

○子どもが、子どもの思いを、子どもの言葉で、子どもに向かって話す姿を

- ・学びの三要素である「知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性」を育むため、「主体的、対話的で、深い学び」が実現した、理想の子どもの姿として掲げる。

(1) 学校運営の基本的スタンス

「小規模校であることを『強み』とした学校づくり」

- ①一人ひとりの子どもとしっかり向き合い、授業の質を高めることを教育活動の根幹とする。
 - ・基礎・基本の定着を図るとともに、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業を展開し、保護者・地域から信頼される学校づくりを進める。
- ②全教職員の主体性や新たな視点を大切にし、創造的な教育が展開できる学校づくりを進める。

- ・学年や教科の枠を越え、創意工夫した教育活動を推進し、自ら学び、自ら考える力の育成を図り、確かな学力を育む。

③基本的生活習慣の定着とお互いの人権を尊重する学級づくりを進める。

- ・「五常の松」の教え（仁義礼智信）を常に心にもち、豊かな人間性と人権を尊重する学級風土をつくる。（いじめのない学級づくり）

④家庭・地域との連携を図り、地域とともにある学校づくりを進める。

- ・「あったかい町 三崎」のヒト・モノ・コトとの交流を積極的に行い、教育活動の充実を図るとともに、地域から信頼され、必要とされる学校づくりを進める。

(2) 本年度の努力点

①確かな学力の定着

- ・小規模校であることを「強み」と捉え、一人ひとりの児童の学習状況を多面的、多角的に把握しながら学力の三要素の定着、伸長を図る。
- ・計算力の向上や語彙の増加などの基礎学力を定着させることができる授業づくりを推進する。
- ・地域素材を教材化した問題解決的な学習を通して、思考力・判断力・表現力を高める。

②支持的風土の確立

- ・お互いの個性を認め合いながら、良好な人間関係を育める学級づくりを進める。

③地域とともにある学校づくりの推進

- ・歴史と伝統のある三崎小学校、地域に愛されている三崎小学校であることを常に意識し、その期待に応えられるよう「三崎らしさ」を大切にしつつ、家庭・地域と協働した学校づくりを進める。